

新たな一歩 4大学入学式

未来に向け学習

川崎医療福祉大

川崎医療福祉大(倉敷市松島)では編入生、大学院生を含む1084人が新たなスタートを切った。

コロナ対策として、川崎祐宣記念講堂での式には代表学生30人と教員ら計約80人が出席した。椿原彰夫学長が「大学の名に恥じない一流の医療福祉人に成長することを期待したい」と式辞を述べた。

医療福祉学科の西岡愛莉さん(18)が代表して「人類のより豊かな未来の実現に向けて学習にまい進する」と宣誓。在學生が「仲間との友情を深めて」と激励した。他の新入生は各講義室に分散。ライブ配信された式典の様子を視聴した。(山内悠記子)



椿原学長(左)の式辞を聞く川崎医療福祉大の新入生ら

岡山大(岡山市)、中国学園大(同)、川崎医療福祉大(倉敷市)、吉備国際大(高梁市)の入学式が2日、会場に分散といった新型コロナウイルス対策を講じながら挙行され、新入生たちが新たな一歩を踏み出した。